

「なまえつけてよ」

定期テスト対策練習問題①

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 (第1段落・2行目) 「そこに見なれない子馬がいることに気がついた」と書かれていますが、「そこ」とはどこのことですか。本文の言葉を使って答えましょう。

問2 「そこに見なれない子馬がいることに気がついた」と書かれていますが、子馬はどのような子馬ですか。本文からぬき出して答えましょう。



問3 (第3段落・3行目) 「思わず、春花はきいた」と書かれています。思わず子馬の名前を聞いた春花の気持ちをもっとも正しく説明しているものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：子馬を見ていることがおばさんに見つかって、はずかしくてごまかそうとした

イ：きれいな子馬に心をうばわれて、子馬のことを知りたい気持ちがいっぱいになった

ウ：いつもはあいさつをするだけのおばさんに話しかけられて、あわててしまった

エ：子馬をすっかり気に入ったので、名前がまだなければ自分につけさせてもらえないかと思った

問4 (第4段落・9行目) 「たのおね。」と書いてありますが、おばさんは春花にどんなことをたのんだのでしょうか。

「…こと」とつづくように本文の言葉を使って答えましょう。



問5 「たのおね。」と書いてありますが、おばさんに「たのおね。」と言われた春花の気持ちをもっとも正しく説明しているものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：おどろきながらも、わくわくしている

イ：とまどって不安になっている

ウ：思い通りになって喜んでいる

エ：どうすればいいかわからず困っている

問6 子馬の名前をつけるようにたのまれた春花の気持ちの変化があらわされているひとつづきの二つの文を本文からぬき出し、初めの5字を答えましょう。

問7 (第9段落・4行目) 「勇太は、ひと月前に、遠くの町から引っこしてきた」と書いてありますが、ひと月前の様子が書かれている部分を本文から探し、はじめの5字を答えましょう。



問8 春花は、勇太をどのような男の子だと感じていましたか。
もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：人なつっこい性格
- イ：人みしりな性格
- ウ：怒りやすい性格
- エ：きちょうめんな性格

問9 (第10段落・11行目) 「春花はきいてみた」と書いてありますが、春花がそのようにした理由を説明している次の文の()に当てはまる言葉を本文からぬき出して9字で答えましょう。

子馬について話すことで、勇太と()になると思ったから。



問10 (第10段落・11行目) 「勇太は目を合わせない。ただ、足元を見ている」と書かれています。このときの勇太の気持ちをもっとも正しく説明しているものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：子馬のことに興味がなくて、たいくつしている

イ：春花に話しかけられるのが嫌で、こまっている

ウ：春花と話すのははずかしくて照れている

エ：子馬のことを知らなかった自分を恥ずかしく思っている

問11 (第11段落・1行目) 「目をかがやかせたのは、陸のほうだ」と書かれています。このときの陸の気持ちをもっとも正しく説明しているものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：ずっと仲良くしたかった春花と話せてうれしい

イ：牧場に子馬がいることを知っておどろいている

ウ：自分が子馬の名前をつけたいと思っている

エ：春花が子馬にどんな名前をつけるのか、わくわくしている

問12 勇太が子馬の話に興味をもったことがわかる一文を本文から探して、はじめの5字を答えましょう。



問 1 3 (第 1 4 段落・1 0 行目) 「陸は二、三度、春花の方を振り返りながら」と書かれています。このときの陸の気持ちをもっとも正しく説明しているものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：名前を覚えてくれなかった春花に腹をたてている

イ：勇太と春花がケンカをしたのではと心配している

ウ：やっぱり今、子馬の名前を覚えて欲しいと思っている

エ：春花と離れるのが寂しいと思っている

問 1 4 (第 1 4 段落・1 2 行目) 「なによ、その態度。」と書かれています。このときの春花の気持ちをもっとも正しく説明しているものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：陸が可哀想だと心配している

イ：勇太を怒らせてしまったのではと後悔している

ウ：子馬のことを馬鹿にされて悲しくなっている

エ：勇太のそっけない態度に腹をたてている



「なまえつけてよ」

定期テスト対策練習問題①（解答）

問1 学校からの帰り道にある牧場

【解説】「牧場」だけではなく、「学校からの帰り道」にある牧場であることが書けているか確認しよう。

問2 つやつやした毛並みの、茶色の子馬

問3 イ

問4 あしたまでに子馬の名前を考えてくること

問5 ア



問6 歩きなれた

【解説】抜き出す二つの文は「歩きなれた通学路だ。けれど、まるで知らない道を歩いているような気がする。」。歩きなれた通学路なのに、まるで知らない道があるいているように思えてしまうほど、子馬の名前をつけるようにたのまれたことに春花がおどろいていることがあらわされている。

問7 「今度、同

問8 イ

【解説】「話しかけても、勇太はあまりしゃべらない」「陸とは楽しそうに遊んでいる」というところから、家族や親しい人とは楽しそうにするけれど、まだ親しくなっていない春花とはあまりしゃべらない「人みしりな性格」だと感じていることがわかる。

問9 親しくなるきっかけ

【解説】勇太は、初めて会った時から恥ずかしがってあまり春花としゃべっていなかったのも、春花は仲良くなるきっかけを探していた。



問 | 0 **ウ**

【解説】「勇太はあまりしゃべらない。」と書かれていることから、勇太は初めて会ったときから春花と話すのを恥ずかしがっていることが分かる。

問 | 1 **エ**

【解説】直前の「わあ、すごいね。なんてつけるの。」という言葉から、どんな名前をつけるのか、わくわくしているようすが分かる。

問 | 2 **勇太は顔を**

【解説】抜き出す一文は、「勇太は顔を上げて、ちらっと春花の方を見た。」

はじめは、春花と話すのが恥ずかしくて目を合わせず、足元を見ているだけだった勇太が、顔を上げて春花の方を見たのは、春花の子馬の話に興味をもったからということがわかる。

問 | 3 **ウ**

【解説】「今、教えてよ。今、知りたい。」と言っていたように、子馬の名前を今教えてほしくて、あきらめきれずに振り返っている。



問 | 4 エ

【解説】「もう行こう。」とふいっと向きを変えて歩き出した勇太の態度を、そっけないと思って腹をたてている。

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。

問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

